

2018年度 大阪医科大学 後期理系 第5問

問題 ●を記した札が4枚, ○を記した札が10枚ある。これら14枚を袋に入れてよくかき混ぜてから1枚ずつ取り出して横一列に並べる。この14枚の札の並び方において, 左端から7番目までの7枚の札の中に●が丁度2個あるという事象を P , どの2つの●の間にも2個以上の○があるという事象を Q とする。

- (1) 4枚の●と10枚の○の計14枚の札の, 異なる並び方の総数を求めよ。ただし札は, 記された●または○以外の区別はできないとする。
- (2) P が起こる確率を求めよ。
- (3) $P \cap Q$ が起こる確率を求めよ。

S.daii2018B.05.pbm